

FAIRPLAY NEWS

フェアプレイで
日本を元気に
あきし、あいたつ、ありがとう



完走よりも大切なこと

2016年2月高知県
8000人以上の一般市民が走る
高知龍馬マラソンが開催された

事件は12~13キロ
付近で起こった

脈がない！
危険だ！

何人ものランナーたちが
次々と集まってきた

救急車を
お願いします！

これを！
AEDという機械で
心臓にショックを
与えると...

私お手伝い
します！

交代しながら10分以上の間
懸命に心臓マッサージを行った

脈がもどったぞ！

適切なすばやい
措置のおかげで男性は
助かった

その後、消防本部からの表彰の場で彼らが
語ったことが、完走よりも大切なことである

救助に参加した6人は
交通規制の解除時間に
間に合わず失格になって
しまった

人の役に立てた
事がうれしい

当然のことをしただけ
です

完走は来年で
いいんです！

オリンピックへの道 ソフトボール 濱村ゆかり選手

目の前のひとつひとつのその先に、
東京オリンピックのマウンドが待っている。

2008年北京オリンピックで日本が金メダルを獲得したソフトボール。その後の2大会ではオリンピック種目から外されてしまいましたが、2020年の東京オリンピックで復活することが決まりました。濱村選手は現在21歳、日本代表チームで最年少のピッチャーです。小学校の頃は男子と一緒に少年野球チームに所属し、中学校に上がるとソフトボールに転向。毎日、プレイすることが楽しくて夢中で練習していたそうで、その姿勢は今も変わらないようです。1日1日が今はチャンスであり、ひとつひとつ課題をクリアしていけば、その先にオリンピックは見えてくるはず、と語ってくれました。

2008年北京オリンピックで日本が金メダルを獲得したソフトボール。その後の2大会ではオリンピック種目から外されてしまいましたが、2020年の東京オリンピックで復活することが決まりました。濱村選手は現在21歳、日本代表チームで最年少のピッチャーです。小学校の頃は男子と一緒に少年野球チームに所属し、中学校に上がるとソフトボールに転向。毎日、プレイすることが楽しくて夢中で練習していたそうで、その姿勢は今も変わらないようです。1日1日が今はチャンスであり、ひとつひとつ課題をクリアしていけば、その先にオリンピックは見えてくるはず、と語ってくれました。

守備練習をする濱村選手

日本代表のチームメイトも、守備、バッティングの練習に励む

わたしのフェアプレイ 荒賀龍太郎(空手道)

人それぞれの戦い方に、敬意をはらう。

私は、子供の頃から、正々堂々相手と正面からぶつかり合う空手を教わられてきました。しかし、特に海外では、ルールギリギリの変則的な技を仕掛けてくるなど、私たちの考える正々堂々といったものは異なる戦い方をする選手も多くいます。はじめは納得できない部分もありました。そのことを海外の選手に言うと、「携帯電話だって進化するだろ？空手だって変わるんだよ」と。それを聞いた時、私の考え方が遅れていたのだと気付きました。私は、私の理想とする空手を追求していきますが、相手がどんな戦い方をしても、それも空手なんだと認めることも大切なんです。

1990年生まれ。実家が空手道場で3歳から空手を始める。2009年に全日本選手権を制し、2013、2015年にはアジアシニア選手権を連覇。世界選手権は前回、前々回と準優勝。最大の武器は、世界最速ともいわれる突き。

※日本体育協会の広報誌「スポーツジャパン7-8月号」に詳しい記事を掲載しています。